

APEK

ニュースレター

2025年5月／6月  
第5学期



## はじめに

違いを生む「家族のような一体感」  
京都国際フランス学園には、私たちが大切にし守り続けてきた、かけがえのないものがあります。それは、「家族のような一体感」と、コミュニティを結びつける温かさです。この特別な雰囲気こそが、子どもたちが安心して、のびのびと、そして楽しく成長できる環境をつくり出しています。  
このバランスは、教育チームの日々の献身的な取り組みによるのももちろん、私たち一人ひとりの関わりによっても支えられています。私たちは一緒に、生き生きとした、温かく、そして外の世界にも開かれた学校をつくり上げているのです。一年の中でも特に心に残るのは、子どもから大人までが笑顔で集うお祭りです。そんなひとときを皆さんと共有できるのが私たちの喜びであり、そして、こうしたイベントは皆さんのご協力なしには成り立ちません。  
そこで、6月14日(土)は、京都国際フランス学園のフェスティバルで思い出に残る一日を一緒に過ごしましょう！  
少しでもお時間をいただける方は、ぜひ以下のリンクからご協力をお願いします。  
[プランニング](#)  
京都国際フランス学園らしい明るく楽しい雰囲気のなかで、皆さんにお会いできるのを楽しみにしています！

## 進行中のプロジェクト



京都国際フランス学園の  
大きなフェスティバルが  
間近に迫っています！



笑顔と色とりどりの一日を迎える準備はできていますか？  
6月14日(土)、フェスティバル委員会は教職員と協力しながら、みんなで楽しく一年の終わりを祝う、明るく楽しいプログラムを用意しました！  
プログラム内容：  
午前中：感動と誇りに充ちた子供達の発表会：心に残るかけがえのない瞬間をお見逃しなく！  
午後：お祭り本番！：笑顔とチャレンジいっぱいの日がスタートします。スキルゲーム、スポーツチャレンジ、アジリティコースなど、年齢を問わず楽しめるアクティビティが盛りだくさんです！  
もちろん、美味しい軽食やおやつもご用意しています。お祭りを楽しんだ後は、しっかりエネルギー補給しましょう！  
ボランティアを募っています！この素晴らしい一日を成功させるために、30分～1時間の持ち場交代制で屋台を手伝ってくださる方、またイベント終了後の片付けをお手伝いくださる方を募集しています。小さなお手伝いが、大きな感謝に...そしてさらに素敵なお祭りへとつながります！  
登録はこちらからどうぞ：[親の参加スケジュール](#)

今年度の締めくくりを、みんなで一緒に盛大にお祝いしましょう！



未来を見据えた  
進行中の計画



私たちは現在、LFIKのさらなる発展に向けて、いくつかの重要な取り組みを進めています。京都市および大阪市に対し、フランスの教育システムの存在強化という戦略的な課題を訴えるにあたり、領事および大使の

積極的なサポートを得ています。  
学校法人認可に向けて：現在、申請書類は6月末まで審査中です。その後本申請を行い、夏期に2回目の審査が行われ、2025年10月に認可に関する最終的な通知がなされる予定です。

大阪分校設立に向けて：適切な立地の調査を引き続き進めています。まだ決定には至っていませんが、前向きな動きが始まっています。

2025-2026年度に向けた具体的改善策：長期的なビジョンと並行して、学校コミュニティの毎日をより快適にするための以下のような改善も検討中です：建物全体の賃貸契約交渉と新教室の設置、通学時の混雑緩和のための「送迎用停車スペース」の新設、体育館および校舎全体のメンテナンス・リノベーション、生徒向けお弁当（パントウ）の品質向上...これらの計画は現在検討段階であり、さまざまな選択肢を比較検討中です。決定事項があり次第、今後のニュースレターで随時お知らせいたします。



## 学校を振り返って：2007年から2017年まで 京都国際フランス学園に在籍していた卒業生、 マヤ・スヌシ＝ジキハラ



私はマイヤ・スヌシ＝ジキハラと申します。チュニジアでチュニジア人の父と日本人の母のもとに生まれました。2007年、私が8歳のときに家族で日本に移住しました。当時、姉も私も日本語が話せませんでしたが、両親はフランスの教育に強いこだわりを持っていたため、自然な流れで関西フランス学院（現在の京都国際フランス学園）に入学しました。  
あの頃の思い出は今でもとても大切にしています。CE2、CM1、CM2が一緒になった複数年のクラスで学び、年上の生徒が年下の生徒を助けるチューター制度も経験しました。この教育方法は私の中で強く印象に残っており、今でも人生のさまざまな場面で役立っています。LFIKで理系のバカロレアを取得した後、日本に残って医学を学びたいと考えていました。しかし、日本語で理系科目を勉強することがなかったため、日本の大学の入試は非常にハードルが高く感じられました。そこで私は、もう一つの情熱である写真の道に進むことを決意しました。大阪芸術大学の写真学科に合格し、日本語で写真を分析するという入試課題にも無事合格することができました。現在、私は写真家として活動しており、大阪万博のカルティエ・パビリオンのチームの一員として働いています。

ぜひ会いに来てください、そしてInstagramもフォローしてくださいね！

私はLFIKとそこで築いたつながりを今でもとても大切にしています。2017年に卒業しましたが、それから何年経っても、当時の友人たちとは今でも定期的に連絡を取り合い、まるで大家族のような関係を続けています。生徒数が101人に達した日、みんなで写真を撮って祝ったことは今でも鮮明に覚えています。今ではInstagramで学校の様子を見て、スポーツの選択肢や海外研修、課外活動、さまざまなイベントを見るたびに、「今の生徒たちは本当に恵まれているな」と感じています。  
最後に伝えたいメッセージがあります。それは、「生徒同士のつながりはとても大切であり、バカロレアの後には無限の可能性が広がっている」ということです。フランスに行くのももちろん良いですが、日本に残る道や、他の国へ進む道、自分だけの進路を選ぶこともできます。大切なのは、自分には選択肢があると知ること。そして、友達はいつまでもそばにいるということです。

## 予定表！

5月29日（木）

APEKメンバーによるコーヒータ임  
午前8時より@LFIK

6月14日（土）

京都国際フランス学園年度末  
フェスティバル（終日開催）

## コミュニティへの呼びかけ、 皆さんの協力が必要です！

**学園祭のブース：ボランティア募集のお知らせ**  
ブース運営（30分～1時間の交代制）や、終了後の片付けをお手伝いいただけるボランティアを募集しています。  
皆さんの少しのお力添えで、もっと素敵なお祭りになります！ご協力ありがとうございます。  
ご参加はこちらから登録ください：[参加スケジュール](#)

**良い情報の共有：リソースを共有しよう**  
私たちは、学校のコミュニティの日常生活を便利にするため、良いリソースのディレクトリを作りたいと考えています。おすすめ（医師、歯科医、カープールなど）があれば、この[リンク](#)から共有してください。ご提案いただいた内容をまとめて、全校に配布します。

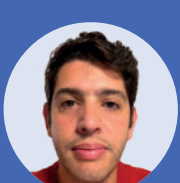
APEKと京都国際フランス学園への日頃からのご支援・ご協力に心より感謝いたします。皆さまの関心と参加が、私たちのコミュニティを支えています。ニュースをフォローし、プロジェクトに関わり、そしてそれぞれの形で京都国際フランス学園を「ともに学び、ともに育つ」心地よい場所にしてくださっていることに、心より感謝申し上げます。

運営委員会

A.P.E.K の運営委員会は、年間を通じて皆様のご意見をお伺いしています。



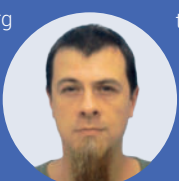
会長  
Xavier CARCELLE  
apek.president@lfikyoto.org



会計  
Federico ZYBERGLAJT  
tresorier@lfikyoto.org



書記  
Kae DEBAYLES-OKI  
secretaire@lfikyoto.org



Grégory PURET  
gpuret@lfikyoto.org



Romain RALLU  
rrallu@lfikyoto.org



Glen BEDJANIAN  
gbedjanian@lfikyoto.org



Guillaume LEQUIME  
glequime@lfikyoto.org



Agnès CATTELAN  
acatteLAN@lfikyoto.org



Julien BOGAERS  
jbogaers@lfikyoto.org